



2012年3月期 第2四半期決算説明資料

WIN INTERNATIONAL CO., LTD.

2011年11月2日

証券コード:2744

株式会社ウイン・インターナショナル

代表取締役社長 秋沢 英海

1. 当社の使命	3
当社の使命～社名の由来	4
医療財政が直面する問題と当社の役割	5
2. 決算概要報告	6
決算サマリー	7
第2四半期決算の総括	8
要約損益計算書	9
要約貸借対照表	10
今期予想(2012年3月期予想)	11
財務諸表	12
3. 戦略	17
Point① 病院経営の目線からの提案	19
Point② 専門性	21
Point③ 集中戦略	24
株主還元(配当性向35%以上)	28
(ご参考)	29
四半期業績推移	30
主要特定保険医療材料別分析	31



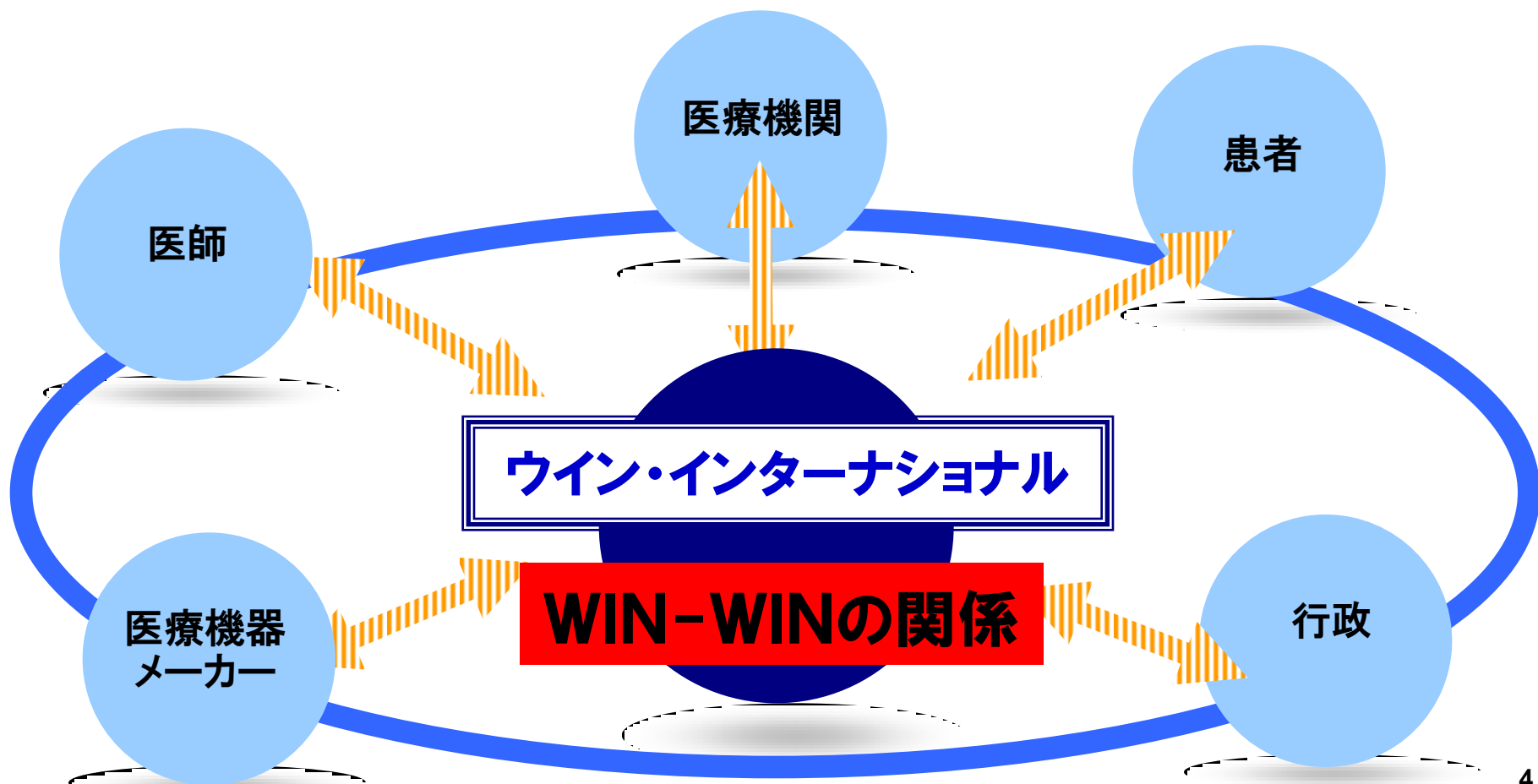
WIN INTERNATIONAL CO.,LTD.

1. 当社の使命

■ 当社の使命～社名の由来

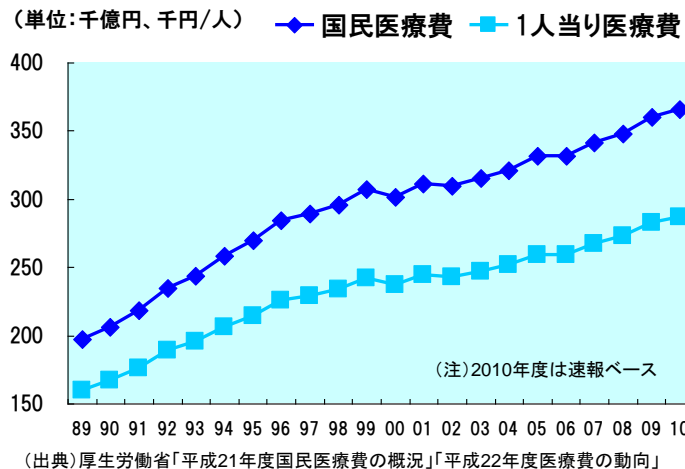
“New Innovative Wave”

WIN(ウイン)は、安全・安心・信頼を第一義に、創意工夫と感謝の念を持って、社員総意で企業価値を高め、社会に対して貢献します。

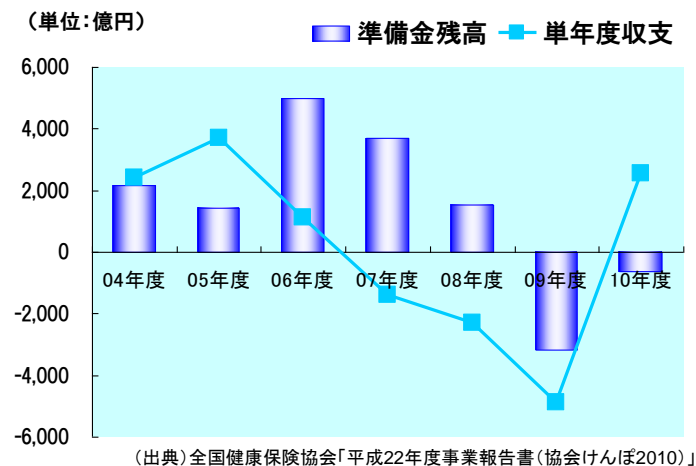


医療財政が直面する問題と当社の役割

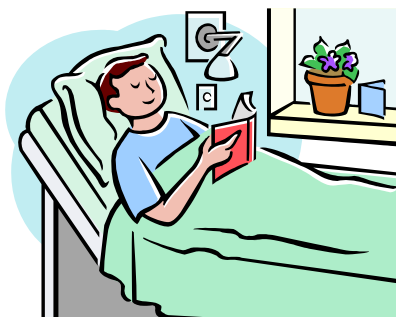
(1): 国民医療費の増大



(2): 医療保険財政の悪化



医療費の抑制



入院期間等の短縮

低侵襲治療
WIN

普及、啓蒙のサポート



医療費抑制に寄与



WIN INTERNATIONAL CO.,LTD.

2. 決算概要報告


決算サマリー

	2010年4-9月期		2011年4-9月期		
	金額(百万円)	百分比(%)	金額(百万円)	百分比(%)	前年同期比(%)
売上高	14,295	100.0	15,685	100.0	+9.7
営業利益	667	4.7	759	4.8	+13.7
経常利益	673	4.7	763	4.9	+13.3
四半期純利益	392	2.7	442	2.8	+12.7
1株当たり四半期純利益(円)	31.93	—	36.24	—	+13.5
1株当たり純資産(円)	505.32	—	552.30	—	+9.3

過去最高の売上高、営業利益、経常利益の達成

第2四半期決算の総括

【事業環境】

- ・東日本大震災 ⇒ 当社への影響は限定的。メーカーに一時影響があり、製品の一括購入が減少。
 - ・償還価格改定 ⇒ 今期なし。
 - ・新製品の上市 ⇒ 国内メーカー初の薬剤溶出ステント(DES)発売、使用量増加。
 - ・低侵襲治療の普及 ⇒ 特に、末梢血管疾患関連(下肢等のバルーン・ステント治療=PPI)、不整脈治療関連(アブレーション等)、大動脈瘤治療(ステントグラフト内挿術)の市場が大きく拡大。
- 

【取り組み】

- ・顧客密着型の営業体制の強化(首都圏の強化、営業所の整備)
 - * 東京営業所の2分化(東京営業所・首都圏営業所)、東松山出張所の開設
- ・営業人員の増員
 - * 主要分野PCIIIに加え、成長期待分野(CRS、CVS、DMS)の営業人員を強化
- ・総合的な営業提案
 - * 設備投資、人材マッチング、集患施策等、病院経営全般の提案を実施
- ・メーカーとの交渉
 - * ボリュームディスカウント、製品一括購入、成功報酬プログラムの条件交渉

要約損益計算書

	2010年4-9月期		2011年4-9月期		
	金額(百万円)	百分比(%)	金額(百万円)	百分比(%)	前年同期比(%)
売上高	14,295	100.0	15,685	100.0	+9.7
売上原価	12,415	86.9	13,618	86.8	+9.7
売上総利益	1,879	13.1	2,067	13.2	+10.0
販売管理費	1,212	8.5	1,308	8.3	+7.9
営業利益	667	4.7	759	4.8	+13.7
営業外収益	7	0.1	5	0.0	▲ 27.5
営業外費用	1	0.0	1	0.0	▲ 31.1
経常利益	673	4.7	763	4.9	+13.3
特別利益	5	0.0	0	0.0	▲ 99.3
特別損失	0	0.0	0	0.0	▲ 10.8
税前利益	678	4.7	763	4.9	+12.4
税金費用	285	2.0	320	2.0	+12.1
四半期純利益	392	2.7	442	2.8	+12.7

売上高 +9.7%
 新規取引先の獲得
 (全体)販売数量の増加
 (CRS/CVS) 高額製品の
 売上増加

売上総利益率 +0.03pt
 ・(CRS)粗利率改善
 ・(PCI)成功報酬プログラムの寄与

販管费率 ▲0.14pt
 費用の伸び率<売上の伸び率
 (コスト増加要因)
 ・人件費 +62.7M
 ・減価償却費 + 7.4M
 ・教育訓練費 + 5.9M

新規取引先の獲得等により、過去最高の売上高

要約貸借対照表



WIN INTERNATIONAL CO., LTD.

(単位:百万円、%)	2011年3月末		2011年9月末			(単位:百万円、%)	2011年3月末		2011年9月末		
	金額	構成比	金額	構成比	増減額		金額	構成比	金額	構成比	増減額
流動資産	13,026	88.4	13,284	88.6	+257	流動負債	7,848	53.3	8,083	53.9	+234
現金・預金	4,026	27.3	4,076	27.2	+50	仕入債務	7,235	49.1	7,429	49.5	+194
売上債権	7,947	54.0	8,158	54.4	+211	短期有利子負債	72	0.5	74	0.5	+1
商品	778	5.3	742	4.9	▲ 36	未払法人税等	286	1.9	326	2.2	+40
未収入金	181	1.2	198	1.3	+16	その他流動負債	253	1.7	252	1.7	▲ 1
その他流動資産	93	0.6	108	0.7	+15	固定負債	205	1.4	177	1.2	▲ 27
固定資産	1,701	11.6	1,716	11.4	+14	長期有利子負債	41	0.3	0	0.0	▲ 41
有形固定資産	1,168	7.9	1,180	7.9	+11	その他固定負債	164	1.1	177	1.2	+13
無形固定資産	95	0.6	103	0.7	+7	負債合計	8,054	54.7	8,261	55.1	+206
投資その他資産	437	3.0	433	2.9	▲ 4	純資産合計	6,674	45.3	6,739	44.9	+65
資産合計	14,728	100.0	15,001	100.0	+272	負債・純資産合計	14,728	100.0	15,001	100.0	+272

売上債権

+211M
 ・新規取引先獲得
 ・既存取引先との取引高増

仕入債務

+194M
 メーカーから商品一括購入

手元資金が増加し、在庫減少

今期予想(2012年3月期予想)

	2010年4-9月 (実績)		2011年4-9月 (実績)		2011年3月期 (実績)		2012年3月期 (予想)		
	金額 (百万円)	進捗率 (%)	金額 (百万円)	進捗率 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)	前期比 (%)
売上高	14,295	48.9	15,685	49.0	29,258	100.0	32,000	100.0	+9.4
営業利益	667	46.0	759	47.4	1,449	5.0	1,601	5.0	+10.4
経常利益	673	46.1	763	47.6	1,461	5.0	1,605	5.0	+9.9
当期純利益	392	46.0	442	47.5	854	2.9	931	2.9	+9.1
1株当たり純利益(円)	31.93	—	36.24	—	69.41	—	75.74	—	+9.1
1株当たり配当金(円)	—	—	—	—	25.00	—	27.00	—	+8.0

【参考】売上/営業利益 上期・下期比率・・・下期に偏重傾向

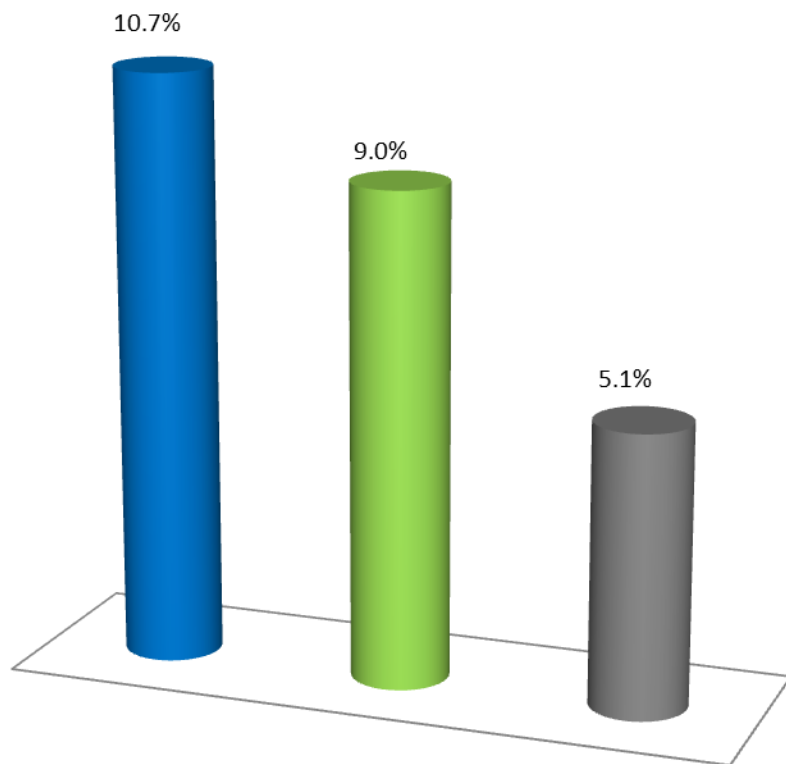
(5期平均) ■売上 上期 47.9% 下期 52.1% ■営業利益 上期 42.2% 下期 57.8%

当初予想通り、増収増益を目指す

財務諸表① 収益性の分析(ROA・ROE)

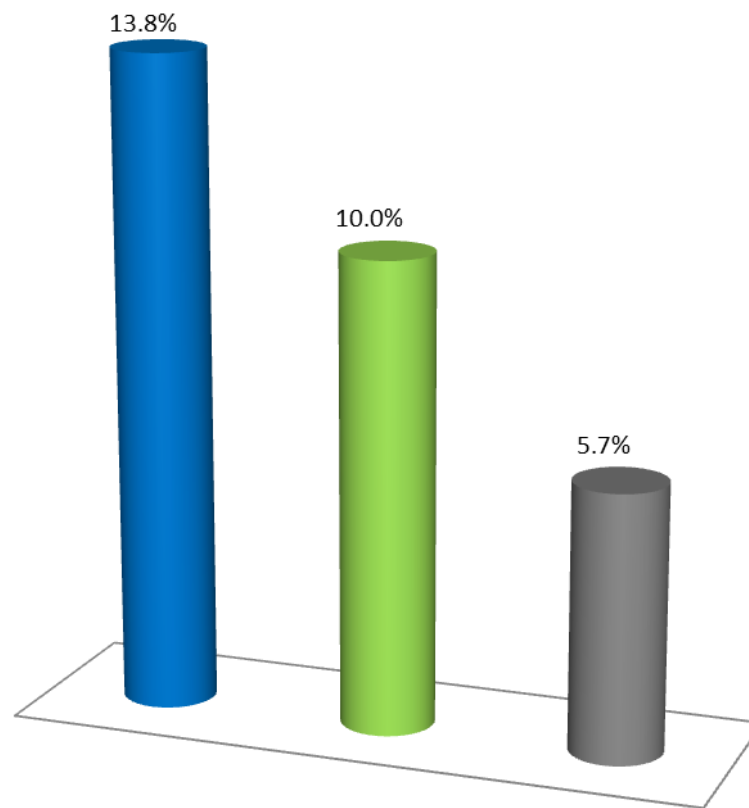
総資本経常利益率(ROA)

- 今期当社予想
- 類似・競合予想平均値
- その他商社 (5市場平均・10)



株主資本当期純利益率(ROE)

- 今期当社予想
- 類似・競合予想平均値
- その他商社 (5市場平均・10)

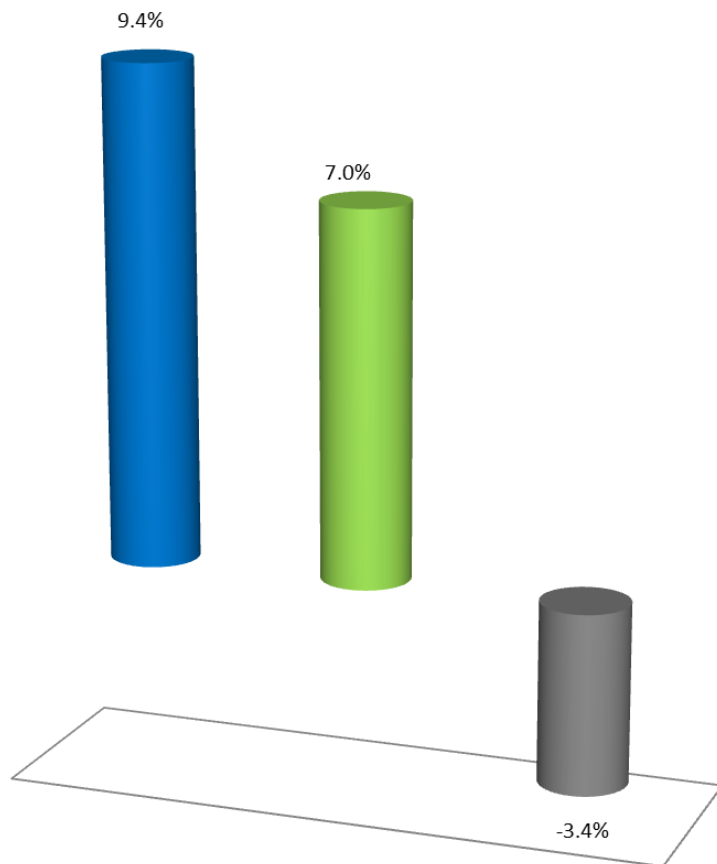


出所: KCR総研(類似・競合予想平均値は直近公開資料を基に作成・その他商社は日経経営指標2011年度版から抜粋)

財務諸表② 成長性の分析(売上高・経常利益)

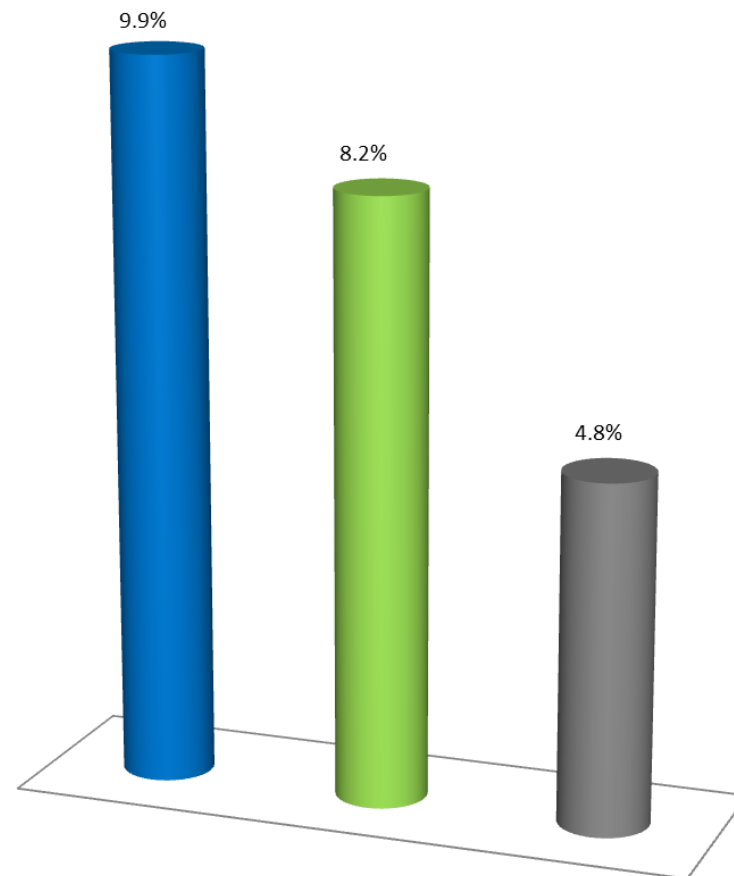
増収率

- 今期当社予想
- 類似・競合予想平均値
- その他商社 (5市場平均・10)



経常増益率

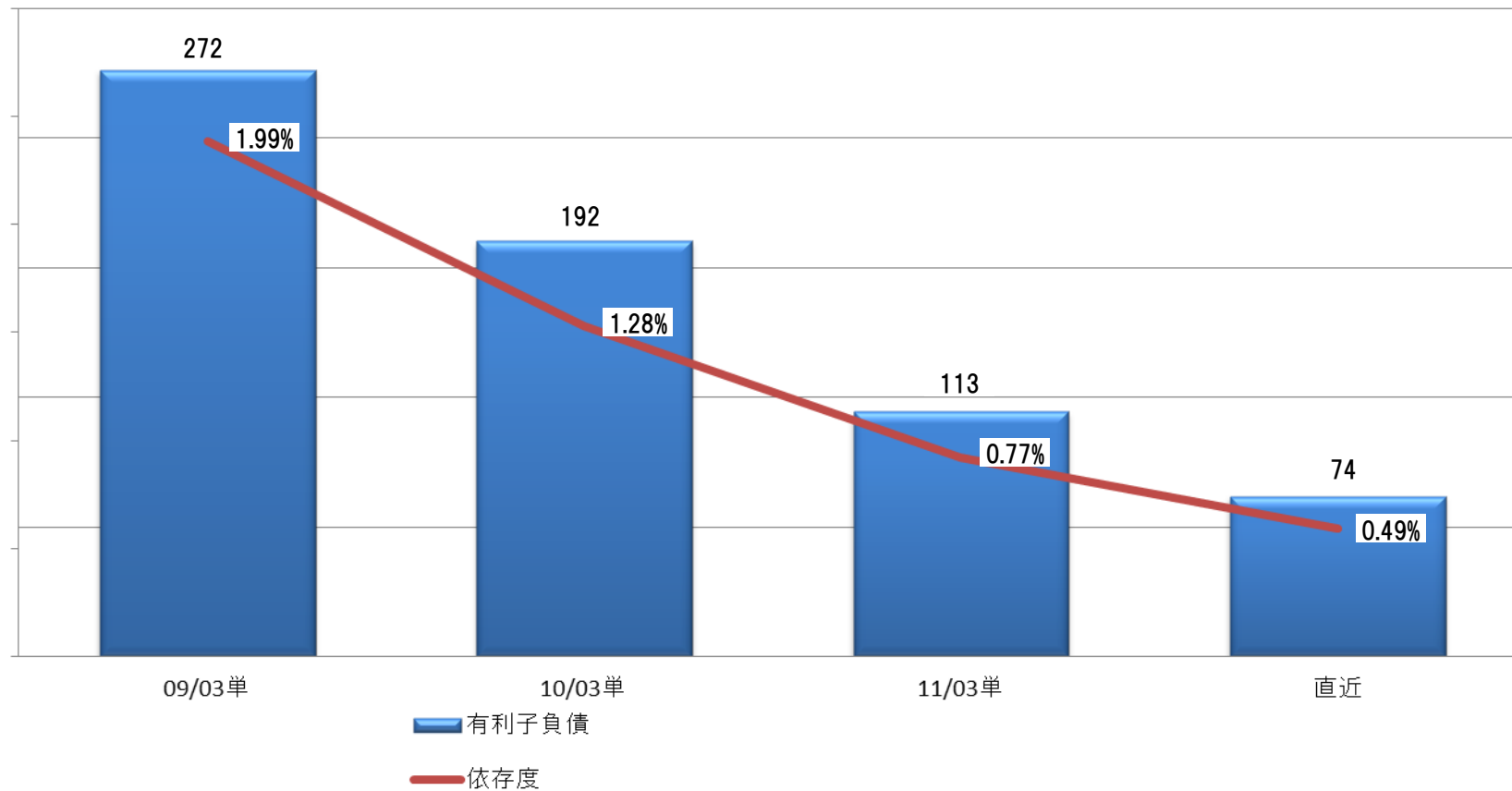
- 今期当社予想
- 類似・競合予想平均値
- その他商社 (5市場平均・10)



財務諸表③ 安全性の分析(実質無借金経営)

単位:百万円

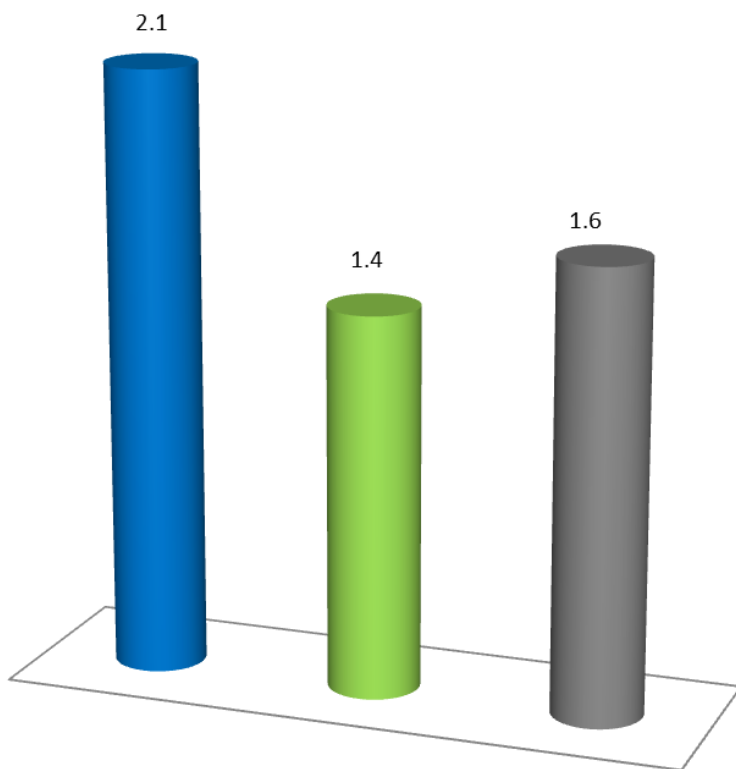
有利子負債推移



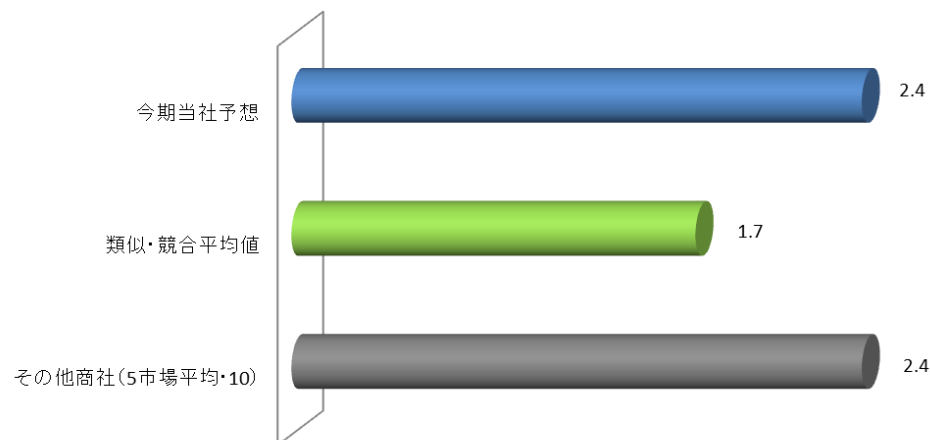
財務諸表④ 効率性の分析(資産回転率)

総資本回転率(回)

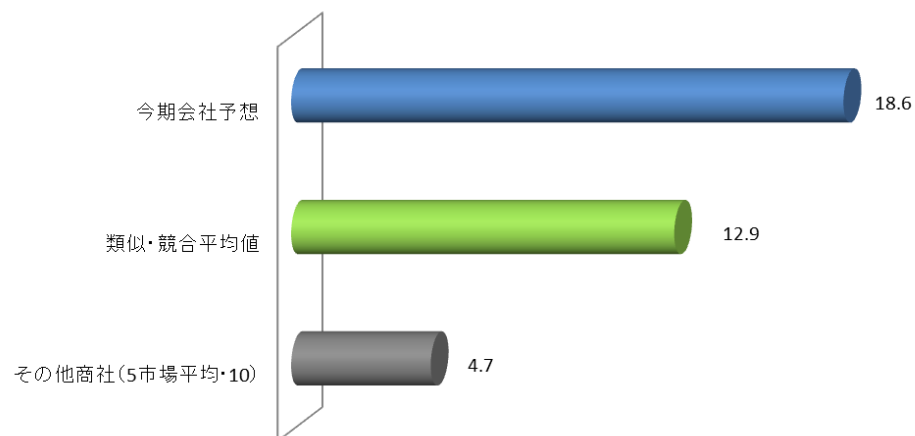
- 今期当社予想
- 類似・競合予想平均値
- その他商社 (5市場平均・10)



流動資産回転率(回)



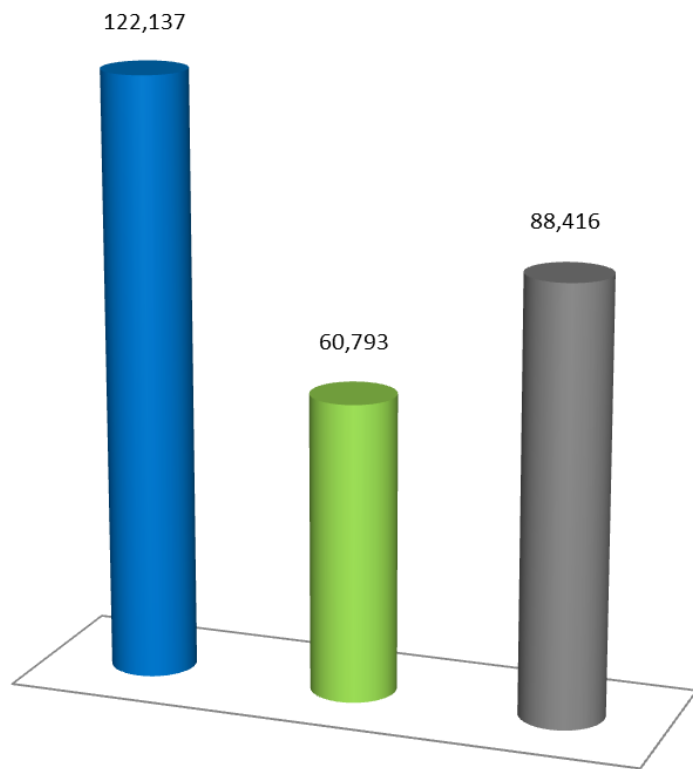
固定資産回転率(回)



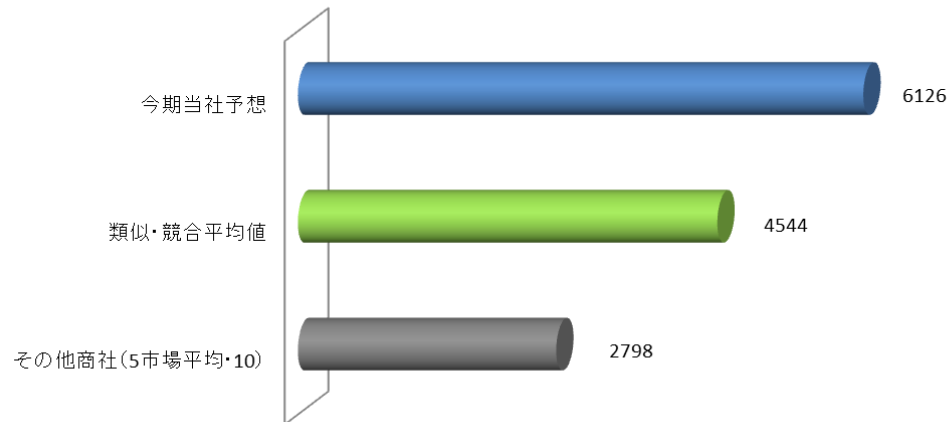
財務諸表⑤ 生産性の分析(従業員一人当たり)

従業員一人当り売上高(千円)

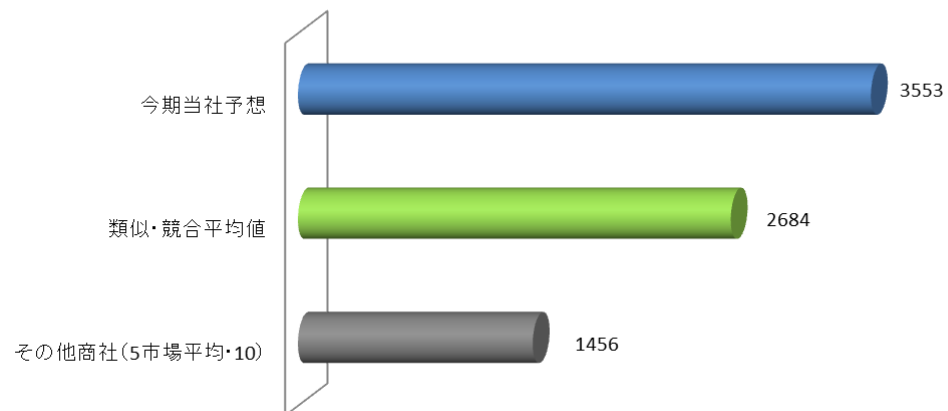
- 今期当社予想
- 類似・競合予想平均値
- その他商社 (5市場平均・10)



従業員一人当り経常利益(千円)



従業員一人当り当期利益(千円)





WIN INTERNATIONAL CO.,LTD.

3. 戦略

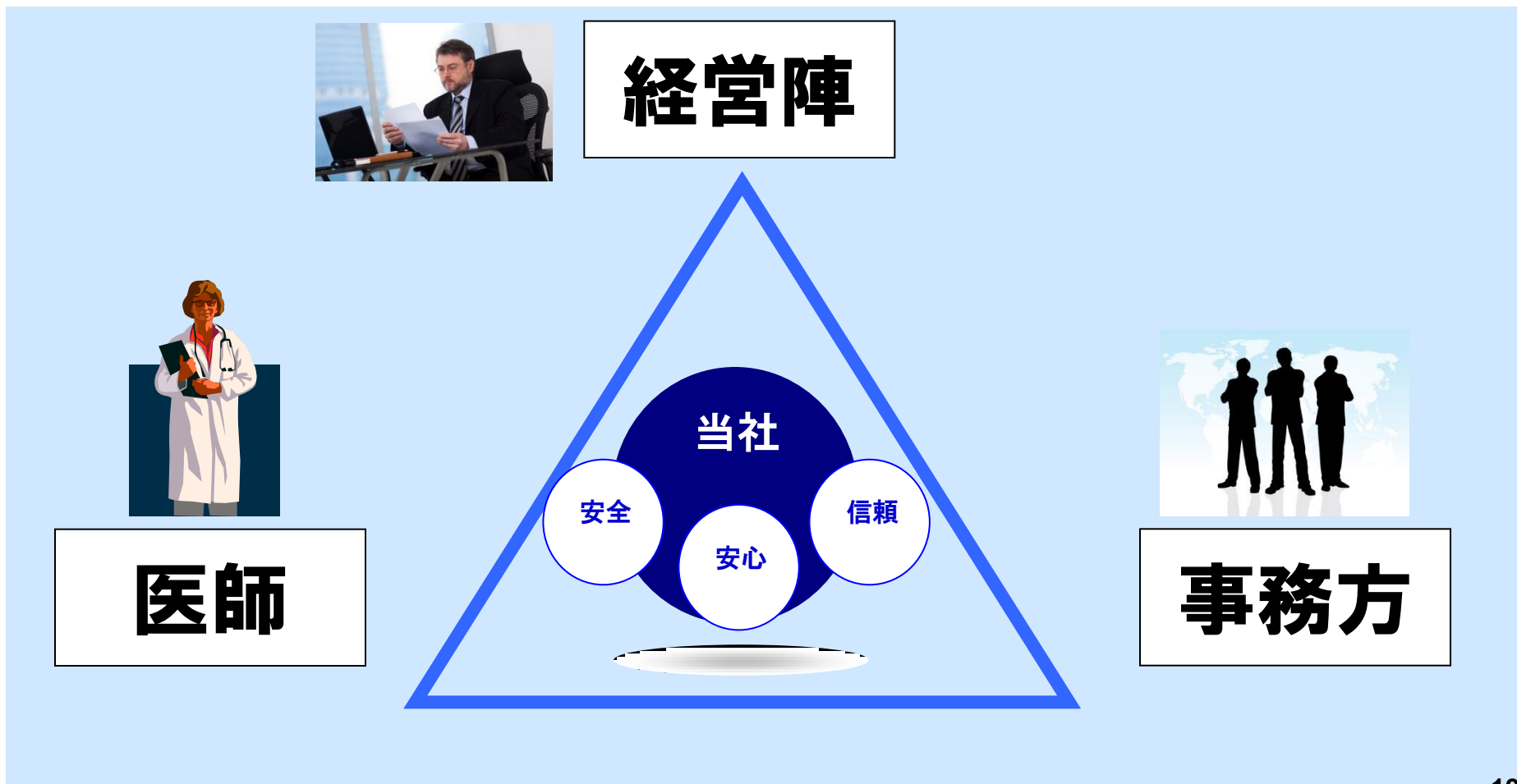
POINT

- ① 病院経営の目線からの提案
- ② 専門性
- ③ 集中戦略

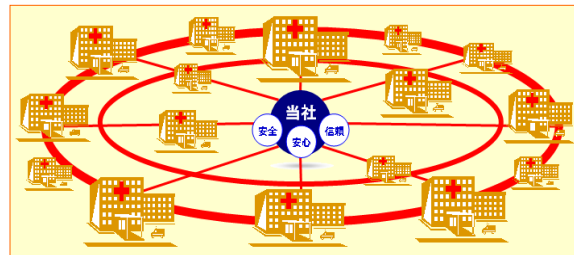
Point① 病院経営の目線からの提案

総合提案(医師、事務方、経営陣)

それぞれのニーズ(医療の質、収益性、将来展望等)に対し、最適な提案



人材紹介



- 当社ネットワークを活用し、施設マッチングを考えた上での人材紹介

設備投資



- 高度医療を実施する為の設備選定・導入支援
- 投資回収提案

集患施策



- 診療圏調査等を活用した患者数、症例数増加提案
- 最新の情報、医療現場に立脚したアドバイザーサービス

“高い専門性を活かしたサービスを展開”

① 高度な商品知識、サービス

循環器分野の低侵襲医療に特化している為、従業員は医療従事者レベルの高い知識と商品情報・ノウハウを有し、きめ細かいサービス提供を通じ、医療現場から信頼を獲得。

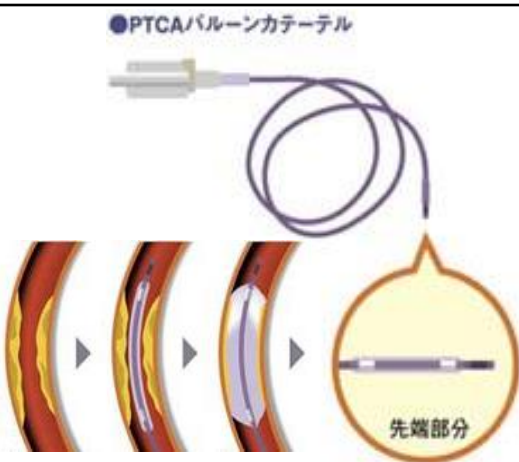
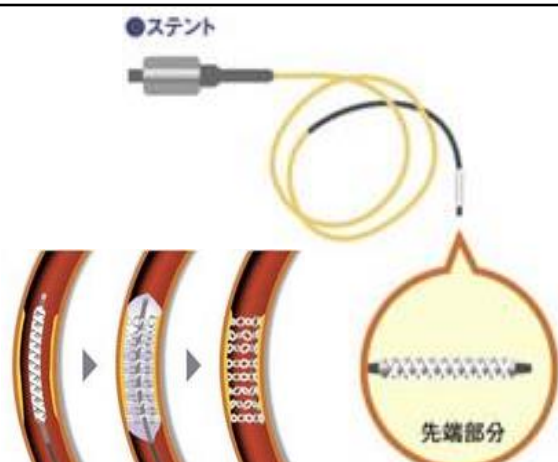
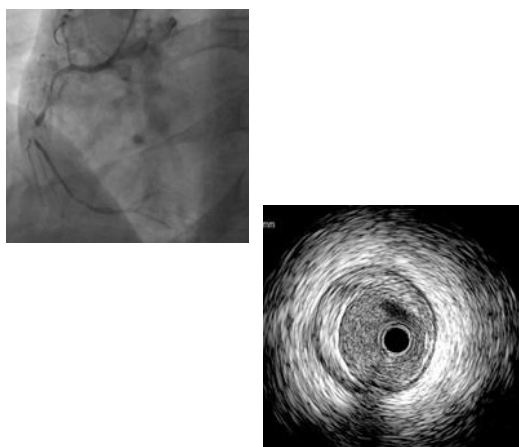
② 医療施設の高度医療化をサポート

新たな手技・デバイスによる高度医療を安全に行う為に、施設基準が設けられている。当社は医療施設が施設基準をクリアし、高度医療を行う為のサポートも実施。
(施設基準:施設の設備基準、年間症例数、医師の研修義務・使用経験 等)

③ 医療機器メーカーへの提案



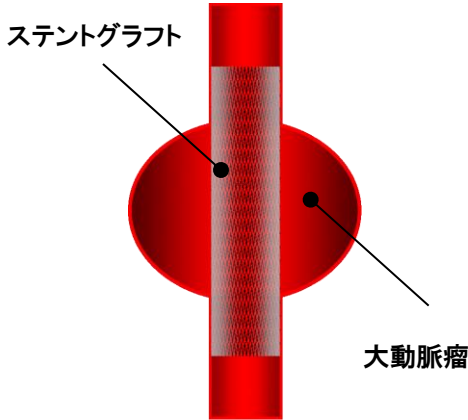
販売目標数量を設定した成功報酬プログラムの導入、キャンペーンも積極的に実施。また、当社の販売力、資金力を活かし、メーカーからの製品の一括購入も実施。

Point② 専門性～主力分野～

PCI		
(虚血性心疾患関連)		
PTCA バルーンカテーテル	ステント (BMS・DES)	IVUS (血管内超音波診断装置)
 <p>●PTCAバルーンカテーテル</p> <p>先端部分</p>	 <p>●ステント</p> <p>先端部分</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・カテーテルの先端にバルーン(風船)がついている。 ・血管内でバルーンを膨らませ、狭窄(血管が狭まること)箇所を広げる。 ・PCIの代表的な医療機器の一つ。 	<p>ステント(=BMS) カテーテルの先端に筒状の網目の金属(ステント)がついている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・血管内でステントを拡張すると、血管が内側から支えられ、再狭窄を防ぐことができる。 <p>DES:再狭窄を防ぐ薬剤が塗布されているステント。PCIの70%以上に使用されている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・血管内で超音波を送信し、反射波を受信して血管内部を映像化する。 ・血管内360度を連続的に観察できる。 ・PCIの治療前後(診断・経過観察等)に使用される。

* 上記の医療機器は、手首・足の付け根などから直径1.0～1.2mm程度の針を動脈に刺し、カテーテルを挿入し、患部に到達させる

Point② 専門性～注力分野～

DMS	CRS	CVS
(糖尿病関連)	(心臓律動管理関連)	(心臓血管外科関連)
 <p style="text-align: center;">インスリンポンプ</p>	 <p style="text-align: center;">ICD (植込み型除細動器)</p> <p style="text-align: center;">CRTD (両心室ペーシング機能付植込み型除細動器)</p>	 <p style="text-align: center;">ステントグラフト</p> <p style="text-align: right;">大動脈瘤</p>
<p>インスリンポンプ療法:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インスリンを持続的に注入するコンピュータ制御の小型医療機器による治療法。 ・患者様の負担を軽減し、生活の質を改善。 ・欧米では普及しているが、国内では一般的でない治療法。 	<p>ICD: ペースメーカー機能に加え、致死性の異常に速い拍動を止め、心臓に正常な拍動を取り戻す機能がある。</p> <p>CRTD: 両心室の電気刺激により、心臓のポンプ機能を改善させ、致死性の異常拍動を止める機能がある。</p> <p>* 従来のペースメーカーに比べ高額だが、致死性の高い拍動に対応するなど、高機能・多機能化している。</p>	<p>ステントグラフト内挿術:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ステント(筒状の金属)を取り付けた新型人工血管を患部に留置し、大動脈瘤への血流を遮り、破裂を防ぐ。 ・従来の治療法は、外科手術(開胸/開腹手術)が一般的だったが、最近では低侵襲治療法であるステントグラフト内挿術が普及し始めている。

① 顧客

循環器分野の有力医療施設(プロ中のプロ)との取引拡大

- ・大規模病院(大学病院、国公立病院、地域基幹病院)
- ・循環器分野の高度専門化を進めている医療施設



② 製品

循環器系低侵襲医療分野における高付加価値製品の販売

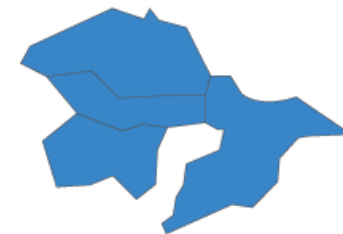
- 高度な医療機器に特化し、高い利益率を実現。
- 虚血性心疾患(狭心症等)、不整脈、末梢血管疾患の治療製品



③ エリア

首都圏での販売の強化、シェアの拡大

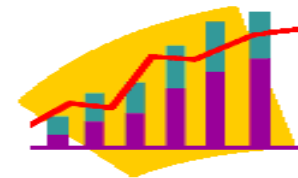
- 首都圏におけるシェアは№1、高齢者人口増加も追い風



④ 成長分野

糖尿病関連(インスリンポンプ療法)の推進

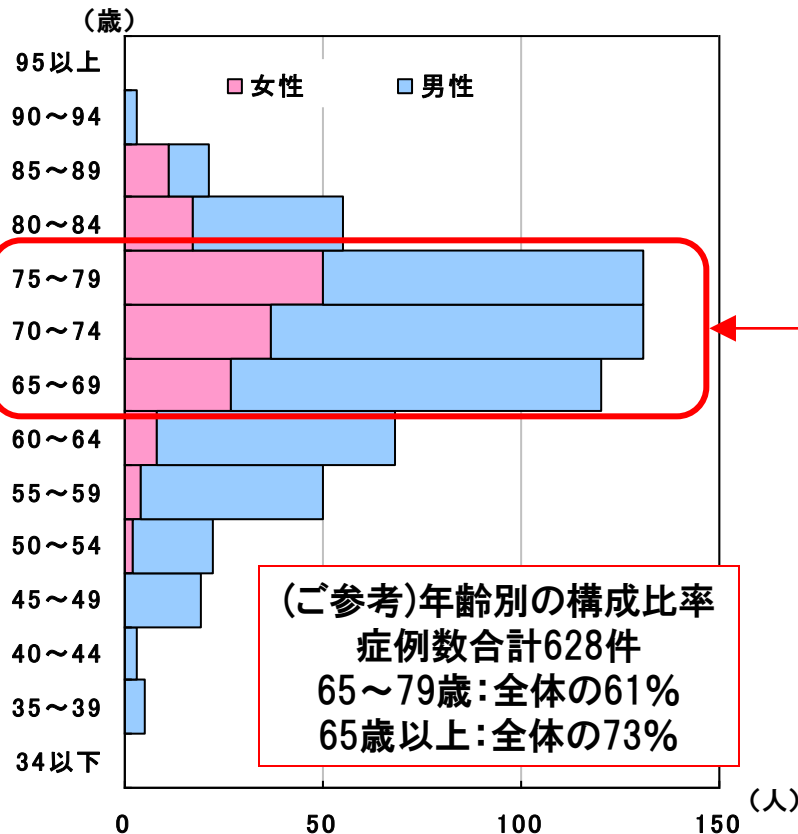
- ・糖尿病患者数は、2000万人を越え、今後も増加
- ・注射療法に比べて患者様の負担軽減可能、今後、日本での普及が見込まれる。



Point③ 集中戦略 当社最終ユーザーは拡大

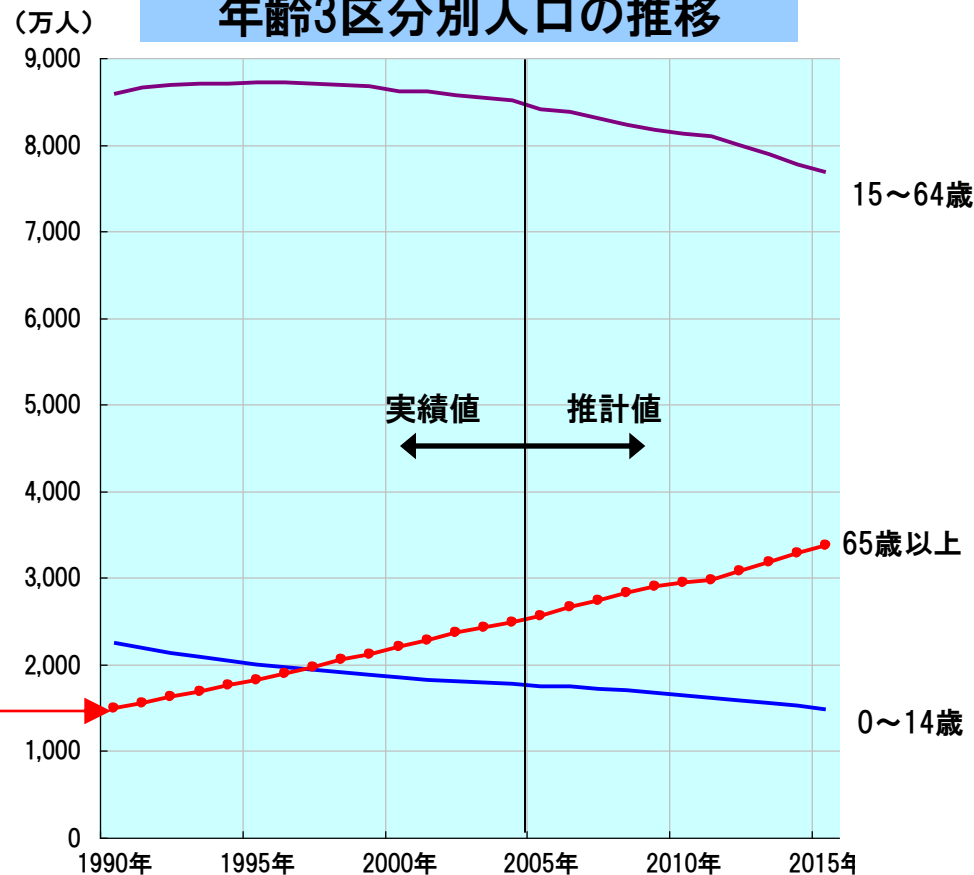
【PCI】(虚血性心疾患関連): 中心患者である65歳～79歳の人口は増加が続く

心臓カテーテル治療症例数(年齢別)



(出典)当社取引先の3ヶ月間の年齢別症例数

年齢3区分別人口の推移



(出典)国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来人口推計」(平成18年12月推計)

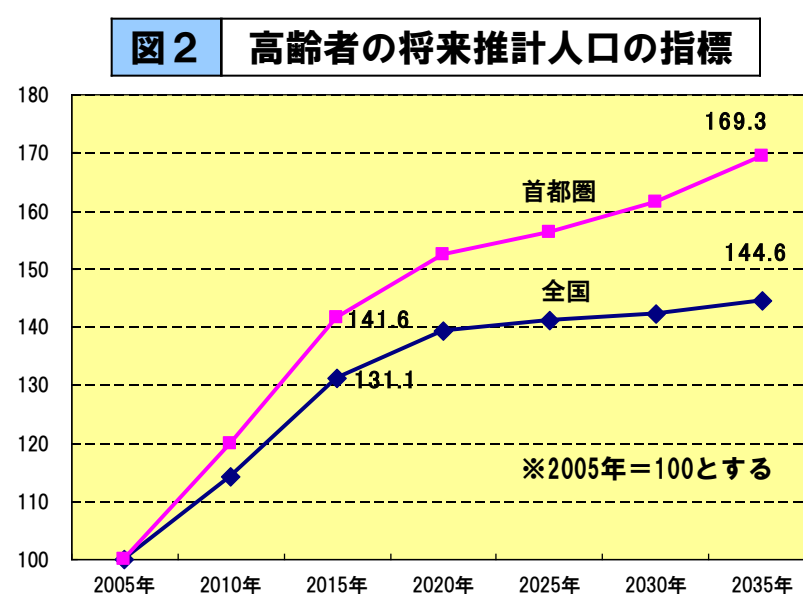
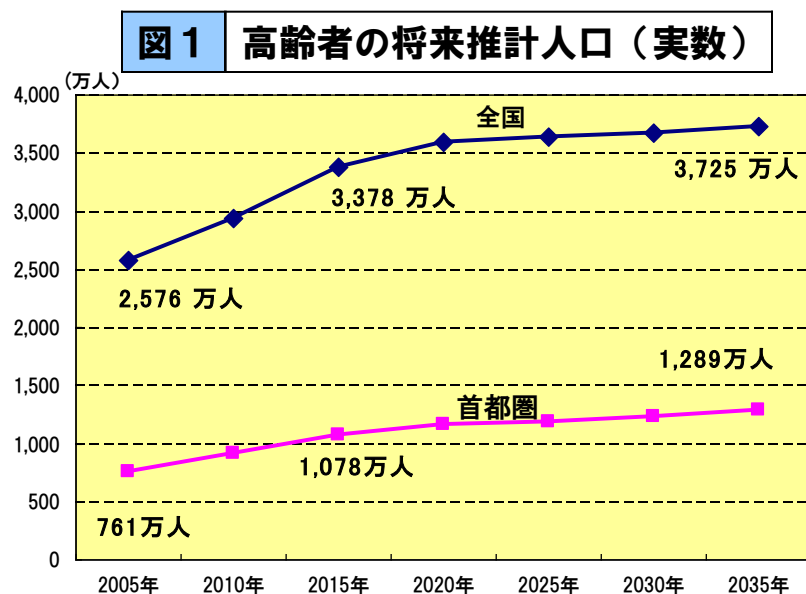
Point③ 集中戦略 エリア～首都圏が伸びる

高齢者人口の動向

■平成27年までの高齢者人口の増加状況

【首都圏の高齢者人口】《2005年》761万人 → 《2015年》1,078万人…約320万人増加（図1）。

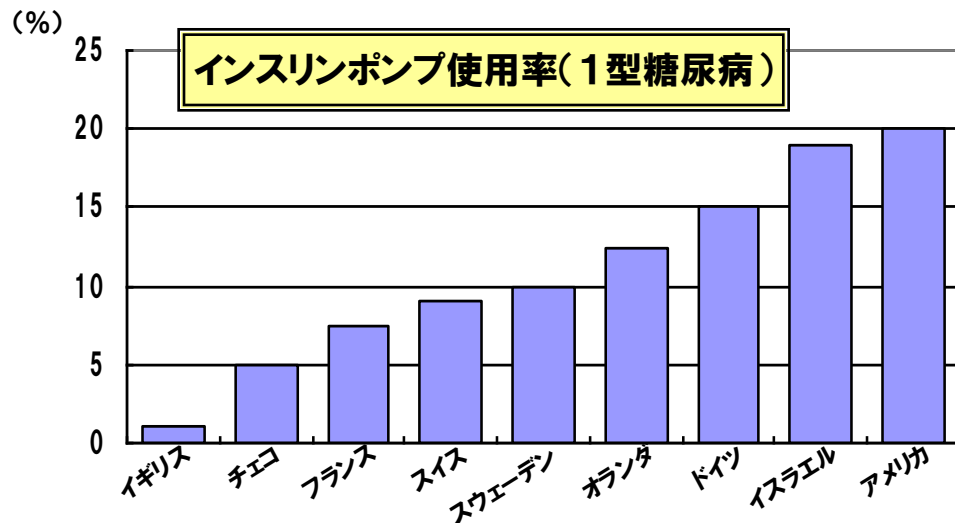
【高齢者人口増加率】指標:2005年を100 → 2015年《全国》131.1 < 《首都圏》141.6（図2）。



（出典）国立社会保障・人口問題研究所 「日本の市町村別将来推計人口」（平成20年12月推計）

Point③ 集中戦略 新規製品・成長分野に注力

【DMS】(糖尿病関連)



(出典)「Insulin Pump Services-Report of the Insulin Pumps Working Group」(Diabetes UK、2007年)



【状況】

- ・糖尿病患者は全国に2,210万人と推定(国民健康・栄養調査(平成19年))
(糖尿病が「強く疑われる人」890万人、「可能性を否定できない人」の1,320万人)
- ・現在、日本における一般的な糖尿病治療法はインスリン注射療法である。

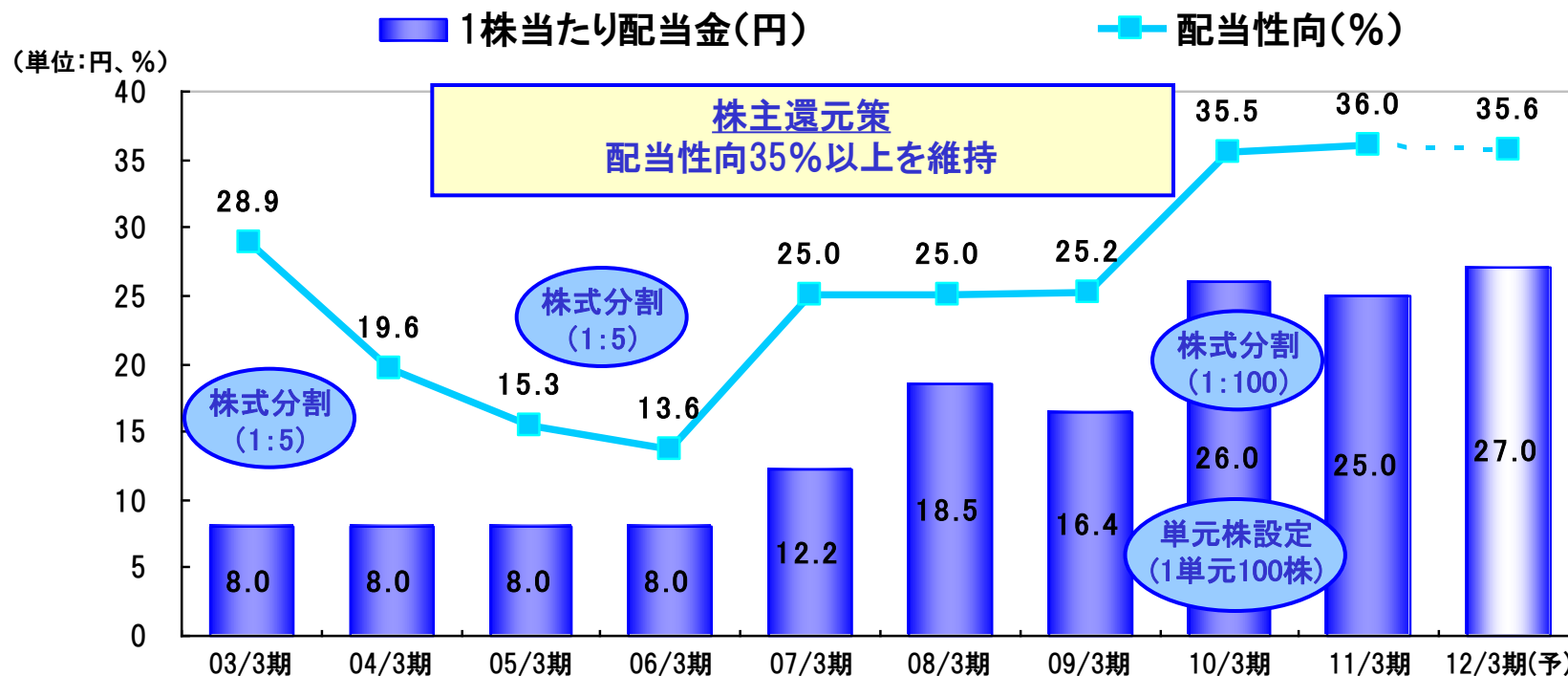
【取組み】

- ・**糖尿病治療の新しい治療法(インスリンポンプ療法)の普及、啓蒙サポート**
*インスリンポンプ療法は、患者様の負担軽減によるQOL(生活の質)の改善が可能となる治療法
- ・**合併症により循環器疾患となった患者様に対応する当社ネットワークの活用**
*インスリンポンプ療法の普及に取組むとともに、糖尿病による合併症(循環器疾患)への対応サポート

【インスリンポンプ療法】

- ・インスリンを持続的に注入するコンピュータ制御の小型医療機器による治療法
- ・欧米では普及していますが、日本国内では一般的でない治療法

株主還元(配当性向35%以上)



自己株式取得	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目
取得期間	04/7/1~05/5/20	07/9/3~08/2/29	08/11/7~12/12	09/2/6~3/10	11/5/12
取得株数(注)	343,100株(2.64%)	151,100株(1.16%)	251,900株(1.94%)	100,000株(0.77%)	100,000株
取得金額	238百万円	70百万円	99百万円	39百万円	61百万円
取得上限	50万株/250百万円	20万株/80百万円	30万株/100百万円	10万株/40百万円	12.5万株/76百万円

(注)1株当たり配当金、自己株式取得・消却の株数はいずれも株式分割調整後。自己株式の取得株数の後ろのカッコ内は消却前発行済株式数に対する比率

※1回~4回までの取得分は消却済み消却日:09/3/31 消却株:696,600株(5.36%)発行済株数:12,303,400株(消却後)

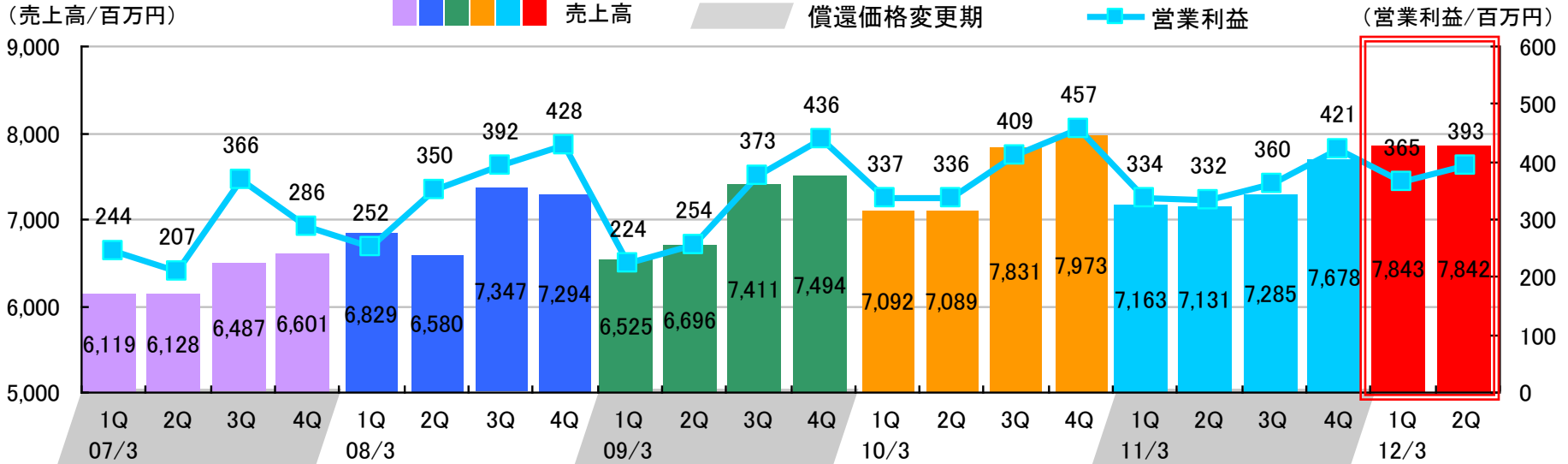


WIN INTERNATIONAL CO.,LTD.

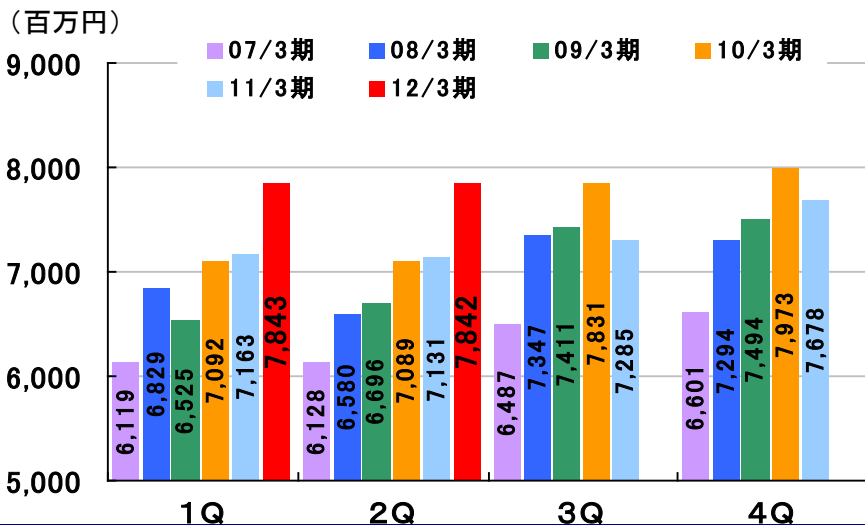
(ご参考)

(参考)四半期業績推移

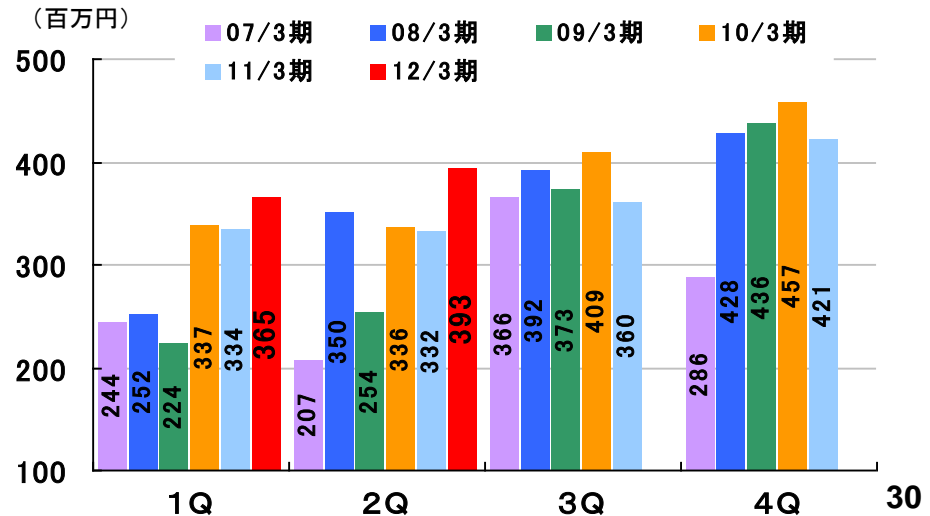
売上高/営業利益の推移(四半期)



売上高の推移(四半期別)



営業利益の推移(四半期別)



(参考)主要特定保険医療材料別分析

(単位:%)

商品区分	伸長率		売上 構成比
	数量	売上	
■ 虚血性心疾患関連(PCI)	2.5	4.8	60.6
PTCAバルーンカテーテル	0.3	▲ 2.8	9.0
BMS(ベアメタルステント)	▲ 23.0	▲ 25.3	4.4
DES(ドラッグエリユーティングステント)	20.2	19.0	23.7
IVUS(血管内超音波診断装置)	7.2	6.5	7.6
その他PCI関連	2.3	1.9	15.8
■ 心臓律動管理関連(CRS)	13.2	8.7	17.2
ペースメーカー関連	15.0	17.3	6.3
ICD/CRT-D関連等(植込み型除細動器等)	▲ 3.6	▲ 4.4	4.3
EP・アブレーション関連 (電気生理検査用カテーテル・心筋焼灼術用カテーテル)	15.4	14.7	4.3
その他CRS関連	9.1	4.1	2.4
■ 心臓血管外科関連(CVS)	28.3	28.2	12.8
■ 末梢血管疾患関連(PPI)	18.1	18.7	6.4
■ 脳外科関連	9.1	10.2	3.0

この資料は投資家の参考に資するため、株式会社ウイン・インターナショナル(以下、当社)の現状をご理解いただくことを目的として当社が作成したものです。

当資料に記載された内容は、2011年11月2日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。投資を行う際は、投資家ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

本資料に関するお問合せ先



WIN INTERNATIONAL CO.,LTD.

株式会社ウイン・インターナショナル

総務部 IR担当

TEL: 03-5688-0878 FAX:03-5688-0891

HP: <http://www.win-int.co.jp>